

(インタビュー)特攻生んだ日本社会は 作家・演出家、鴻上尚史さん

2018年8月23日05時00分

シェア 1126 | ツイート list | ブックマーク 20 | スクラップ | メール | 印刷

紙面ビューアー | 面一覧

続きから読む



「出陣学徒壮行の地」の石碑の前で。大学などに在籍中に召集された学徒兵からも多くの特攻兵が出た＝池永牧子撮影



太平洋戦争 末期、飛行機ごと敵艦に体当たりする特攻作戦により約4千人の若者が命を落とした。軍幹部ですら、「統率の外道」と指摘したとされる異常な作戦に突き進んだ空気感、戦後73年たって変わったのか。「不死身の特攻兵 軍神はなぜ上官に反抗したか」(講談社現代新書)を書いた作家の鴻上尚史さんに聞いた。

——著書では特攻を9回命じられ、9回生きて帰ってきた陸軍の操縦士、佐々木友次さんに話を聞き、彼の生き方を描きました。

「まずその事実には驚きました。ただ帰るだけでなく、爆弾を落として船を沈めているのですが、参謀や司令官たちはまったく評価しない。21歳の若者に『次は死んでいい』と言うわけです。『爆弾を落として船を沈めればいいと思います』と佐々木さんが言っても、『爆弾を落とした後に体当たりしろ』と言う。死ぬことが目的になっているのです。これだけ言われても、なぜ9回とも帰ってこられたのかを知りたかった」

——結局、なぜ帰ってこられたのでしょうか。

「色々な要素があるのですが、最大の理由は、佐々木さんが空を飛ぶことが大好きだったからだと思います。彼が乗った九九式双発軽爆撃機はあまり評判のよくない飛行機でしたが『乗りこなすと鳥の羽みたいになるんだ』と言っていた。自分の手で大好きな飛行機を壊すことに耐えられなかったんじゃないでしょうか」

「なおかつ上官にいくら文句を言われても、パイロットだから飛び立てば一人なわけで、精神の自由を保てたのだと思います。『飛ぶことが好き』なんて考えは、当時の軍隊のような超ブラックな組織ではまず言えないことです。日本型組織は、少数の異論を持つ人に暗黙のうちに多数意見と合わせるよう求める同調圧力が強い。これに対抗する最も強力な武器は、『本当に好きだ』という気持ちを持ち続けることだと思います」

——若者たちは自ら特攻兵になったのですか。

「上官が隊員を並ばせて、『志願する者は一歩前に出る』と言い全員が出るまで待ち続けた例や、『行くのか行かないのかはつきりしろ』と突然叫んで、全員が反射的に手を挙げた例もあったといいます。好きでなったとは言えないでしょう。中には、予科練や少年飛行兵など14～15歳から軍隊教育を受けて外部の価値観を知らないまま成長し、志願した人もいたと思いますが、それは1割か2割です。残りは志願という名の強制、命令だったのは明らかです」

「命令した側は自分たちの責任を明確にしたくないので、『我々が非難されるのは甘んじて受け入れるが、国のために散った若者を馬鹿にしないで欲しい』という、実に卑劣で巧妙な言い逃れをしています。特攻を命令した側と命令された側を、ひとまとめに『特攻』と呼んではいけません」

——特攻を賛美する論調が近年、目立ちます。

「特攻兵が『ほほ笑んで自らを犠牲にして散っていった』のようなわかりやすい物語はどの時代でも受け入れられやすい。ただ、その裏というか、本当は何があったのかを伝えていくのも、大切な仕事だと思っています」

最新の朝刊紙面

東京 2018年09月13日 木曜日

地域面紙面
天声人語
社説



各本社朝刊紙面 | 朝刊バックナンバー

あなたの
お家、
今いくら!?

意外と
高く売れる
かも!?

60秒入力!

いますぐ無料査定。

VABLE

PR 注目情報



年収2000万円特集!
普段あまり見ない求人多数掲載中
ハイクラス転職サイト/ナビリーチ



実は...わが家を売りました
築24年でも4,380万円!約30%の人が
買った時より高く売る方法とは?



9/15は世界リンパ腫デー
知っておきたい悪性リンパ腫のこと
専門家に話をうかがいました

“浮かない”ための会話術

年を重ね、もう一度出会う。面白さ

お子様の英語スクールをご検討の皆さま
先着300名 無料体験レッスン受付中

晩ごはんに食べたい!各地の食材レシピ
さらに食卓彩るギフトが1千人に当たる

電気通信大学、長野県立大学ほか
13大学を徹底取材! 国立大学特集

エコー×アエラストイルマガジンの
SPイベントがエコー銀座店で開催!

■ ■

——特攻を生み出した日本社会のあり方は変わりましたか。

「日大アメフト部の選手が悪質な タックル をした問題の構造が、特攻の構造とあまりに似ている、怒りを通り越してあきれました。指導者側は選手が自発的にやったと言い、選手側は指示だったと言う。ただ選手は従わざるを得なかったわけで、僕らは同調圧力の強さの中で、つい 忖度 (そんたく) してしまう国民性なのです」

——国民性ですか。

「日本の文化の奥底には村落共同体を守ろうとする意識があって、これを壊そうとするのは天災ぐらい。天災にはあらがってしょうがないと、与えられたものを受け入れ、現状を維持することが一番重要なんだという文化が根づいているのだと思います」

——共同体は悪でしょうか。

「もちろん良い面もあって、東日本大震災 で壊滅状態だった道路の大半が1週間で通れるようになったのは共同体が機能した例です。復旧工事にかかわった人の中には、まだ肉親が見つかっていない人も、家が壊れたままの人もいました。それでも復興のためなら、何をおいてもやる。絆をもとに動くことが、すべて悪いこととは言えません」

「しかし、いい結果をもたらさない場合も多いでしょう。ひとつの例が残業です。仕事をするために残業していたのがいつの間にか、上司が残っているから帰れないとか、定時で帰ると仕事していないように思われるとか、残業自体が目的になってしまっている。僕ら、忖度 する国民はそれが変だと思いつつも、共同体を維持することが大事だと思いつみがちなので、指摘せずに続けてしまう」

——これは変わりませんか。

「『不死身の特攻兵』は、最初は歴史好きの人が、その次にサラリーマンが買うようになりまし。そのうち女性も買うようになり、ネット上では『PTAと全く同じ』なんて反応があります。最近は高校生や大学生が『これって俺たちのコーチの話じゃん』と反応している。このままではいけないと思い始めている人が、増えてきていると感じますね」

■ ■

——日本社会の息苦しさについては以前から指摘していました。

「僕は四国の 愛媛県 の出身で、両親は小学校の教師でした。教師は理想を語るのも、おかしいと思えばおかしいと言う。その影響か、子どものころから朝の6時に役場や公民館がサイレンや歌を流すのはおかしいと思っていました。これは、朝6時に起きる人たちが前提にした社会でしょう。しかし朝寝たい人もいるだろうし、家によって生活習慣も違う。こういう習慣を、何十年も残してきたのが『世間』です」

——戦後、高度経済成長期 やバブル時代を経ても、「世間」はなかなか変わらなかったと。

「高度経済成長 は、日本のナショナル・アイデンティティー (国民意識) になった。豊かになることに向かいこの国は進んできたけど、バブル経済 の崩壊後、失われた20年が来ました。我々は今、ポジティブに言えばどこに向かうべきかを探している時代で、ネガティブに言えば喪失した時代です」

「一部の人は、世間の人々がみな仲良く助け合っていた、古き良き伝統ある日本に回帰することを目指しています。僕はそれを『世間 原理主義者』と呼んでいます。しかし、世間と呼ばれる共通の価値観で生きていく前提は既に崩れているのに、それを取り戻そうとすると、同じ価値観に染まらない人たちへの排斥が始まります。それが LGBT の人は『生産性がない』という驚くべき発言につながるわけです。世の中が多様になる流れは必然で、排斥しても何も始まらないはずです」

——一方で、こうした言動に対抗する動きもあります。

「そういう面では実にスリリングな時代、おもしろい時代だと思いますね。『生産性』というような視点でしか語れない政治家がいる一方で、すぐに抗議デモが起こる。しかしこれは、両者の分断が進む危険性もはらんでいます。おそらくネットが普及した影響が大きいです。新聞がメディアの一番手だった時代は、自分が読みたいものも目に入りましたが、今は自分の読みたい文章だけ読んで一生を終えられるようになりました。情報がたつぽ化しているのです」

アクセスランキング もっと見る

読まれています	昨日のトップ5
元KARAのク・ハラ、暴行か 原因は別れ話のもつれ?	
夫作ったハンバーグから睡眠薬... 夫婦間でも起きる性暴力	
「誰にも話せなかった」施設内性暴力、声あげられず	
軽んじられる男性の性被害 深く傷つのは女性と同じ	
大坂なおみ、質問に?「アイデンティティーは...私は私」	

ソーシャルランキング もっと見る

フェイスブック	はてなブックマーク
1 露「条件なしで平和条約を」 1401	
2 名探偵コナンは俺のバクリ 610	
3 土曜の郵便配達、廃止を検討 459	
Facebook	Twitter 記者ページ

注目コンテンツ ご案内

- 【&BAZAAR】
スマホの音は物足りない！
お手頃価格のハイレゾ機


- 【&TRAVEL】
仏教の聖地ブッダガヤへ
玄奘三蔵を巡るディープ旅


- 【&M】
平成最後の夏を切り取る1枚
カメラマン宮田正和の「一眼気分」


- 【&w】
デザインホテルのものづくり
川島蓉子のひとむすび


- 好書好日
「もうアカン」を大逆転
梅原真さんのデザイン術が本に


- WEBRONZA
北海道地震で食料探しに奔走
今日の編集長おすすめ記事


- アエラストイルマガジン
セレブ御用達の名SUV
レンジローバーの魅力とは?


- T JAPAN
デザイナー・芦田多恵の「進化」
デビュー27年目を迎えて


- GLOBE+
親族が卒業生なら有利?
アメリカの大学進学事情


- sippo
譲渡会って、どんな場所?
元気な保護犬・猫と出会える場


- 新たな大学入試に挑むすべての親子に
- 9/15は世界リンパ腫デー 正しい理解のために
- 中小企業の経営者が語る、大切にしていること
- 同志社大学ほか、関西の大学の今が分かる!

——「生産性」発言への 自民党 の対応には批判がありますが、9月の総裁選では、安倍首相 3選の可能性が高いと言われます。

「安倍さんがどうのというより、同調圧力が桁外れに強い国なんだという意識を持っているかどうか、政治家の立ち位置を決めると考えています。それは 自民党 だろうが、 共産党 だろうが、僕はあまり区別していません。他人に合わせて行動するというは、自尊心が低いこととセットなのですが、それをどれくらい問題だと考えているかで、人はずいぶん違うんだと思うんです」

——どういふ人にこの国のリーダーになって欲しいですか。

「本が話題になって、右側からも左側からもいろんな意見がきましたが、結局、同調圧力を求める人たちは、右にも左にもいます。この状況をなんとかしない限り、この国が本当に、健全に一人ひとりが思考することは難しいと分かってもらえる人がいいですね」

——日本の将来に希望はありますか。

「最近も政府が2020年の 東京五輪・パラリンピック の暑さ対策のため、サマータイムの導入を検討すると言っています。導入しなくても、マラソンは朝7時スタートを5時にすればいいだけで、なぜ国民を 総動員 するんでしょう。いいように 忖度 する国民なので、目覚め続ける不断の努力が必要です。うかうかしているとえらいことになります。あきらめたら負け。頑張らないと」

(聞き手・諏訪和仁)

*

こうかみしよじ 1958年生まれ。大学在学中に劇団「第三舞台」を旗揚げし、プロデュースユニット「KOKAMI@network」と「虚構の劇団」を中心に活動している。

その他のオピニオン面掲載記事

- (インタビュー)特攻生んだ日本社会は 作家・演出家、鴻上尚史さん
- (私の視点)eスポーツ 新しいスポーツの可能性 吉田勝光
- (私の視点)子のいない女性 それぞれの理由に思いを 井上理砂子

こんなニュースも

- 夜にスマホいじる妻を脇差で刺した疑い 77歳夫逮捕
- 尿1滴でがん診断、なぜ使われなくなった？
- 甲子園の応援曲に「異変」 10年前のあの人気曲がない
- 22歳で見たことのない大金が通帳に……。印税の使い道は少年時代に決めていた (&M)
- 「産まない」と言った私に「あ、そう」ぶっきらぼうに対応した先生へ (&W)
- ルイ・ヴィトンのスニーカー、前から横から、後ろから (アエラストイルマガジン)
- 初主演で繊細な恋愛表現に挑む 若き俳優ティモシー・シャラメ (T JAPAN)

Recommended by

こんな特集も

- イード・アワード2018受賞のこども向け英語塾とは？ (PR)
- 10/3編集長が「通勤靴選び」を指南！55名イベント招待 (PR)
- 日本最高位は17位「傳」、世界のベストレストラン50 (アエラストイルマガジン)
- 「甘みがどっと押し寄せる。」幻の枝豆 -くろさき茶豆- (PR)
- 人生は山あり谷あり。いざという時のために (PR)

PR情報

- マーケティングの事例とノウハウが満載！ 朝日新聞×ターゲットメディア
- 人生100年時代のお金について考えるイベント無料招待。小遊三師匠も登場

トップニュース

朝日新聞デジタルのトップページへ

- 辺野古移設、賛成→反対→白票→？ 揺れる選択と無力感 (21:10) 🔒
- XR、廉価でも最新プロセッサ iPhone徹底解説 (21:20) 🔒

初心者のための長期投資講座「投資」とは？

START編集部が気になる保険の疑問5選

駒場東邦校長が語る「頭脳の資源化」とは

元素クイズで遊ぼう！全問正解できるかな？

伝えたい声の文化 さだまさしさん対談

2019年4月 学部・学科の新設、改編特集

マーケティングの事例とノウハウが満載！

理想の住まいが見つかる！ハウスカタログ特集

独立を意識したら 朝デジ会員なら簡単登録！

子供向け水泳・かけこ・プログラミング講座

MBA、夢じゃない 社会人大学院

朝日新聞デジタル会員ならこんなにお得！

働き方・就活

転職情報 朝日求人ウェブ

動画ランキング 動画一覧

1	2	3
0:17	0:42	
大坂なおみが帰国記者会見 全米オープン優勝	関空連絡橋の壊れた橋桁、まもなく撤去 14日にも完了	ドア線... マー

写真 フォトギャラリー



写真特集 北海道地震 大阪万博、懐かしの展示 20

写真プリント

しまうまプリントの写真プリント

ご購入はこちら